

252



# むかしのくらし

むかしのくらし

## (1) 縄文時代の遺跡



数千年前、遠く海辺から山の幸を求めひたすら神通川を遡ってきた縄文人が、ついにたどりついた極まりの地、亀ヶ平がこの分水嶺位山の麓であった。人々はこの亀ヶ平の丘に小さなムラをつくった。

さらに数万年前、旧石器時代人が姿をあらわし始めた頃、この宮の地は全て湖の底であった。お旅山は島のように水面に浮んでいたのだろうか。ナウマン象が湖のまわりを歩いている姿が想像さ

## (2) 両面宿儺



写真：宮村史より引用

数々の伝説を持つ土地、飛騨は、歴史の起ころも伝説に彩られています。日本の歴史を書いた古い本である日本書紀には、朝廷に逆らう怪物として描かれる両面宿儺ですが、飛騨地方では民衆を導いた英雄として崇められています。また神仏を崇め、悪神を退治して飛騨の人々を安心させてくれた恩人として信仰の対象になっています。

## 飛騨一之宮の伝統と技

ひだいちのみやのでんとわざ

### (1) わたしたちの町の伝統工業



写真：飛騨一之宮観光協会 Web より引用

旧宮村の工業は、古くからある製材所を始め木製品工場、金属製品製造工場、縫製工場などがあります。地域に伝えられる伝統工業を継承していくことは、人々の努力が欠かせませんが、貴重な文化財を次代に残すという面でも重要です。このことが、地域に誇りと愛着をもたらし、地域共同体に果たす役割も大きいといえます。

### (2) 飛騨の宮笠(一位笠)



写真：飛騨一之宮観光協会 Web より引用

旧宮村では、学校、役場、診療所、橋をかけるなどのさまざまな事業は、村有林から得られる収入に負うところが大きく、住民の負担はかなくなっていたのが特徴でした。木材を利用して作られる特産物に、宮笠・一位笠があります。

### (3) 伝わる技術とささえる条件



この地で育まれた「伝統文化」の多くが、地域の人々の「伝えたい」「残したい」という強い願いのもと、現在まで受け継がれてきました。その技術を「今あるまま」残すために、映像や画像として記録・保存（デジタルアーカイブ）するという支援が大切となります。

### (4) 伝える技術と問題点



地域に伝わる伝統文化は、今日に至るまでの数百年間受け継いできました。しかし、時代の変化にともない受け継ぐ側の人数が減少しているのが現状です。一之宮町に伝わる獅子舞も、継承が難しくなった時期もありました。今後も時代や環境の変化によって、受け継がれてきた伝統文化を人から人へと伝えることが難しくなることが予想されます。このままだと、何百年も前から地域の人々が「伝えたい」「残したい」という強い願いのもと、つないできた伝統文化を絶やさかねません。



# ◆位山古道散策マップ



発行：平成24年12月18日 第1版

監修：森瀬 一幸（岐阜女子大学）

執筆：飛騨一之宮地域再発見デジタル教材 WG

中川 善夫（高山市立宮小学校校長）

上野 博隆（高山市立宮中学校校長）

武川 宏彦（高山市立宮小学校教頭）

瓜田 恵美（高山市立宮小学校教頭）

山腰 進（高山市立宮中学校教頭）

坂田 浩一（高山市立宮小学校教諭）

水口 和也（高山市立宮中学校教諭）

水端めぐみ（高山市立宮小学校教諭）

苅安 幸恵（高山市立宮小学校教諭）

松嶋 杏奈（高山市立北小学校教諭）

松井久美子（高山市立東小学校教諭）

藤木 和子（高山市教育委員会）

保木 斉（高山市教育研究所）

撮影・編集：久世 均・齋藤陽子（岐阜女子大学）

長慶寺香／阿部彩野／亀山直美／風見早千帆／坂下由華

市川明日香（岐阜女子大学）

二ノ宮のり／松井久美子／水端めぐみ／佐藤菜摘

反中彩乃／時國亜貴子／石原麻衣子／小倉 優／多田佑衣

片桐真紀／齋藤由吏／定岡祐希（岐阜女子大学）

参考文献：宮村史 通史編 1巻、2巻 発行：宮村

協力：高山市教育委員会・高山市役所一之宮支所

飛騨一之宮観光協会

なお、本冊子は、「若者による一之宮地域文化の再発見事業委託」により作成いたしました。